



れどころか、「殺処分数が年々増加」というのは事実でない。そのことについて、別の記事には次のようにある。

11年度、…略…殺処分は計8,340匹。県と呉市が11年7月から引き取りを有料にしたことで、10年度に比べ788匹(8.6%)減少した。／ただ10年度に都道府県最多だった大阪府は20.7%減の7,428匹、ワースト2だった愛知県も27.4%減の6,665匹になった。大阪府は6年前から病気やかみ癖がなく、いったん譲渡すると決めた犬は飼い主が決まるまで保護する。愛知県は、県内全域で引き取りを有料化。それらの効果が働いたとみる。／両府県が大きく減らす中、ワースト3だった広島県が最多となった…以下略…。 出典:「中国新聞」2013/6/24

これによると、殺処分数は2010年度に比べると2011年度は減少している。ただ同じように殺処分が多かった大阪府や愛知県に比べると減少の割合が小さく、結果的にワーストになってしまったのだ。全国ワーストになってしまったが、設問にあるような「殺処分数が年々増加」しているというようなことはなかったのである。(広島県健康福祉局によれば、広島県の殺処分数は2000年度よりも前から年々減少しているという。)

このように多くの学生が誤読するのは、ひとつには先入観が働くからである。私たちは、全国1位になったと聞くと、良いことでも悪いことでもその状態が年々拡大することで首位になったのだとイメージしやすい。そのため、この記事の場合は、殺処分という悪い状態が拡大した(殺処分数が年々増加した)結果全国ワーストになったのだと勘違いしてしまうのである。

先入観で誤読するのはよくないが、文章を理解するには既存の知識や経験に照らし合わせるという行為は不可欠である。たとえば、小説の中に、横断歩道、補助輪のついた子ども用自転車、片方だけのシューズ、車のブレーキ痕、救急車が描かれていると、読者は、病院に運ばれた子どもは重体かもしれないとイメージする。それは、横断歩道、補助輪のついた子ども用自転車などについて負の知識や経験があるからである。当たり前なことだが私たちは、文章の内容を、既存の知識や経験に照らして書かれていないことまで推測することで理解している。したがって、文章が取り上げている内容について既存の知識や経験が欠落していると文章の理解に苦労することになる。

このことは、文章を書く場合にも心に留めておく必要がある。ビジネス文書を書く際に、取り上げた話題が社内で共有化されている知識や経験の場合、詳細を省略しがちである。よく知られている内容なので、読み手は自分と同じように推測するだろうと思うからだ。しかし、共有化されているからといって知識や経験がみんな同じというわけではない。その小さな違いが読み手の推測に大きな違いとなって表れて、誤解を招いたり、期待した行為を促さなかったりする。そうならないように、こちらが予測したとおりに読み手が推測してくれるように、取り上げる事柄を選び、構想を練り、適切な言葉や表現を選択しなければならない。

職場でのコミュニケーションは、他者の既存の知識や経験を把握するうえでも重要であり、様々な方法で活性化が行われている。一方で、大学で日本語文章表現を教えている自分の場合、学生の既存の知識や経験を把握できているかという大変心もとない。学生の文章表現力を向上させるために、彼らの既存の知識や経験を把握することに努めたい。

>>次号は、1学期「法人税法の基礎と実践」講師 福田 正太郎准教授が担当します。

◆今週の一冊◆

木本 一成教授おすすめの書籍です。



『「マニュアル」をナメるな！ 職場のミスの本当の原因』 中田亨、光文社新書、2019年

「マニュアル人間」「マニュアルどおりにしか動かない」など、「マニュアル」という言葉は負のイメージを伴って使われることがある。この本の著者は、「本格的なマニュアルを作るための技術が世間に普及していない」という問題を取り上げ、職場のミス防止のためにマニュアル作りが重要であることを指摘する。取り上げられている事例の分析には、人間工学の考え方がうかがえる。人に説明して分かってもらったり、指示して成果物を作らせたりするという仕事(たとえば教育)に従事している人にとっても有益。

◆講座紹介動画◆

※画像をクリックすると講座紹介動画と講座概要がご覧いただけます。(本学オフィシャルサイトに遷移します)

■「[ビジネス文章表現](#)」



講師:教養教育部 教授 木本一成

分かりやすく説得力のある文章を書くために、ビジネス文章表現の基本や文書作成の考え方について学びます。

★2023年5月22日(月)開始(毎週月曜全6回)

## ◎事務局から◎



2023 年度キャリアアップ・プログラムの受講申し込み受付中です！

1 学期講座の申込締切は、[5 月 8 日\(月\)](#)です。

忙しい社会人が学びやすい環境となるよう、平日夜間に市内中心地の立町キャンパスで開講しています。

## ◇キャリアアップ・プログラム 講義の様子◇

※本学オフィシャルサイトに掲載している講義の様子をご覧ください。

[2022 年度 社会人向け講座キャリアアップ・プログラムを実施しました。](#) (2023/3/15 掲載) **NEW!!**

## ◇2023 年度 1 学期開講科目のご案内◇

※画像をクリックすると講座紹介動画と講座概要をご覧ください。(本学オフィシャルサイトに遷移します)

### ■「[ビジネス文章表現](#)」



講師:教養教育部 教授 木本一成

分かりやすく説得力のある文章を書くために、ビジネス文章表現の基本や文書作成の考え方について学びます。

★2023 年 5 月 22 日(月)開始(毎週月曜全 6 回)

### ■「[法人税法の基礎と実践](#)」



講師:経営学科 准教授 福田 正太郎

会社の決算をもとに法人税を計算する過程を学びます。その過程の中で、交際費、役員給与や寄付金などについての法人税固有の考え方を学びます。これらを理解することで法人税の大枠の仕組みが理解できるようになります。

★2023 年 5 月 22 日(月)開始(毎週火曜日全 6 回)

### ■「[実践的広告戦略立案の基礎](#)」



講師:メディアビジネス学科 教授 北野 尚人

広告戦略を立案・構築するために必要な知識や視点など、最近のメディア環境と情報環境の変化を踏まえて考えます。具体的な広告戦略の構築も体験していただきます。

★2023 年 5 月 23 日(火)開始(毎週火曜日全 6 回)

## ■「NPO でソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを創り出そう」



講師：スポーツ経営学科 准教授 中村隆行

NPO とは何か、何ができるのか、社会貢献しつつ、持続可能な組織をどうやって作るのかについて考えます。

★2023年5月23日(火)開始(毎週火曜日全6回)

## ■「世界経済の動きから日本経済を考察する」



講師：経済学科 教授 野北晴子

日本経済の現状を理解するには、戦後の世界経済体制の下で、特にアメリカの戦略との関係で日本経済がどのような変遷をたどってきたか見る必要があります。政治の裏には経済がある。それをすることで経済学的思考を身に付けてもらいます。

★2023年5月24日(水)開始(毎週水曜日全6回)

## ■「Excel で0から学ぶファイナンスと基礎」



講師：経済学科 教授 重本洋一

企業の資金調達や投資活動はどのような判断基準で行えばよいのか？これらの点についてコーポレート・ファイナンス理論を踏まえつつ実例を用いて易しく解説していきます。

★2023年5月26日(金)開始(毎週金曜日全6回)

2022年度講座終了後のアンケートに寄せられた受講生の声の一部をお知らせします。

2023年度の受講をご検討の皆さまは、ぜひこちらをご覧ください、受講の参考にさせていただけたらと思います。

<https://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/voice2015.html>

※詳細については、以下URLをご確認ください。

《キャリアアップ・プログラム》2・3学期も受講申込受付中！

<http://www.hue.ac.jp/visitors/local/careerup/index.html>

※ご意見・ご感想はこちらまで [career-up@hue.ac.jp](mailto:career-up@hue.ac.jp)

※配信解除はこちらから行ってください。

<https://y.bmd.jp/bm/p/f/tf.php?id=0828719345&task=cancel>

※広島経済大学 オフィシャルサイト <https://www.hue.ac.jp/>

発信元:広島経済大学 教育・学習支援センター キャリアアップ・プログラム事務局 (082-871-9345)